

協会だより

令和3年度森林防疫賞選考結果

令和3年5月20日にWeb選考会を行い、「森林防疫」誌第69巻（2020年、令和2年）に掲載された論文を対象に、本賞の審査規定に基づいて審査した結果、次の2編4名の方々を受賞者（共著者で国立研究機関、国立研究開発法人、大学の研究者は対象外）とすることを決定した。なお、例年実施している表彰式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催を中止した。

林野庁長官賞

ムラサキシラホシカメムシによるセンリョウの落果被害とその発育および産卵

鹿児島県森林技術総合センター 川口エリ子

鹿児島県森林技術総合センター 河内 眞子

全国森林病虫獣害防除協会会長賞

該当なし

奨励賞

ヨモギエダシャク（チョウ目：シャクガ科）によるスギコンテナ苗の食害事例

埼玉県寄居林業事務所森林研究室 室 紀行

大阪市立自然史博物館 長田庸平

《選考経過》

林野庁長官賞 川口エリ子・河内眞子：ムラサキシラホシカメムシによるセンリョウの落果被害とその発育および産卵

センリョウは冬に赤い果実をつけ正月の花材とされる常緑小低木であるが、本論文ではその原因不明の果実落下被害に対して、放飼試験によりムラサキシラホシカメムシが加害種であることを特定し、さらに飼育下での産卵・発育調査によって、本カメムシがセンリョウ上でも生活史を回せることを詳細な飼育実験で確かめたものである。

基本的な生活史を明らかにすることによって、加害の潜在的インパクトを評価しており、現場（圃場）

での予防対策への示唆にもつながる成果を挙げている。また、極めて妥当な調査手法によって新発見がまとめられており、森林防疫誌的にも学術的にも価値が高いと認められる。観察数も不足無く努力が認められ、今後の新たな圃場における被害の危険性に関する考察もあり、非常に情報量の多い研究論文となっていることが、高く評価された。

奨励賞 室 紀行・長田庸平：ヨモギエダシャク（チョウ目：シャクガ科）によるスギコンテナ苗の食害事例

近年造林分野では、コンテナ苗による苗木生産が盛んになっている。コンテナ苗生産は、人為的な環

境で集約的に苗木を生産する新たな技術である。それゆえに、その生産条件特有の病害虫の発生が危惧されるところであった。

本論文は、スギコンテナ苗の生産拡大が重要な政策課題となっている中で、ヨモギエダシャクによるスギコンテナ苗の食害を報告したものである。コンテナ苗の病害虫は、耳に入る情報はあるものの公表されることは少なく、貴重な事例報告と考えられる。

ヨモギエダシャクはその名に似つかわしくなく、寄主植物は多岐にわたり、針葉樹の加害例もある。

筆者も考察している通り、本種による被害が偶発的なものか、スギを好む個体群があるのかなど、興味深い問題も残されており、今後の研究に期待したい。一方、このような広食性の害虫が、スギはもちろん、それ以外のコンテナ苗生産の現場で発生する可能性は十分に考えられる。本論文を契機に、コンテナ苗生産被害への意識が高まることも期待される。このようことから、本論文は奨励賞に値すると判断された。

令和3年度森林病虫獣害防除活動優良事例コンクールの選考結果

林野庁長官賞

風の松原に守られる人々の会（秋田県）

全国森林病虫獣害防除協会会長賞

栗原俊光（神奈川県）

奨励賞

山崎和雄（神奈川県）

東山・二の岡路観光協議会（静岡県）

《選考経過》

林野庁長官賞 風の松原に守られる人々の会

地域住民が主体となり、保安林における林床改良作業（松葉かき、除草や下草刈り）等を行い、クロマツの育成・保護を実施。近隣の小学校が活動に参加するなど、取り組みの広がりやマツ林の健全化などの成果も見られ、他の模範となる取り組みである。

同コンクール第10回（平成16年）において奨励賞を受賞しており、その後も長年に亘って活動を継続していることが高く評価された。

全国森林病虫獣害防除協会会長賞 栗原俊光

約20年間に亘り樹幹注入に携わるとともに、その中で得られた知見を取りまとめ、「樹幹注入の心得（農文協プロダクション）」を出版し、林業関係大学等へ書籍の贈呈を行うなど、正しい施工方法を広める活動に尽力していることが高く評価された。

奨励賞 山崎和雄

神奈川県箱根町地域のナラ枯れ被害抑止のため、普及広報活動を地域と一体となって推進していることや、技術講習会対応、助成制度設立への貢献など、多岐にわたり地域のナラ枯れ被害対策に尽力していることが評価された。

奨励賞 東山・二の岡路観光協議会

富士山東麓地域の広域的な問題となっているナラ枯れ被害抑止のため、現地調査や「ナラ枯れについてのセミナー」を開催し、市民へ県内の被害実態などの情報提供を行い、地域と一体となって普及広報活動を推進していることや、御殿場市の助成制度設立につなげるなど、ナラ枯れ被害対策に尽力していることが評価された。